

POSTGRADUATE COURSE GUIDANCE 2018

平成30年度
大阪歯科大学同窓会

ポストグラデュエートコース

2018

5.26/27 **1コース** **木ノ本 喜史** ハンズオンセミナー

明日から使える歯内療法のエッセンス 2018
～髄腔開拓から根管拡大・形成・根充まで～

2018

6.10 **2コース** **松田 謙一/田中 佑人** レクチャー

超高齢社会における戦略的歯科治療
～要介護者への義歯治療の有効性を考える～

2018

7.8 **3コース** **寺本 昌司** レクチャー

安心・安全なインプラント治療を実践するために
～治療計画の立案から生体材料の選択、手術手技までの知識をアップデートしませんか～

2018

7.29 **4コース** **末瀬 一彦** ハンズオンセミナー

歯科用 CAD/CAM テクノロジーの現状とその方向性
～口腔内スキャナーを体験しよう～

2018

11.25 **5コース** **西田 亙** レクチャー

いかにして日本国民を歯科医療に覚醒させるか？
～そのために必要な知識とコミュニケーション技術～

2018

12.9 **6コース** **北島 一** レクチャー

歯周病患者に対する包括的治療における
Soft & Hard Tissue Management



1コース ハンズオンセミナー 定員:24名

5月26日(土)・27日(日)

時間 26日/15:00~19:00
27日/10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師

研修費 歯科医師(会員)65,000円、歯科医師(会費未納者、他大学)85,000円
※(実習材料費30,000円を含む)明日から使える
歯内療法のエッセンス
2018
～ 髓腔開拓から根管拡大・
形成・根充まで ～

木ノ本 喜史

医療法人豊永会きのもと歯科
大阪大学大学院歯学研究科臨床教授[所属学会]
日本歯内療法学会
(副理事長, 総務委員会委員長, 専門医)
日本歯科保存学会(評議員, 指導医専門医)
日本顕微鏡歯科学会(理事, 認定指導医)
American Association of Endodontists, 他[略歴]
1987年 大阪大学歯学部卒業
1992年 大阪大学大学院歯学研究科修士(歯学)取得
1997年~1999年
米国テキサス大学サンアントニオ校歯学部
歯内療法学講座客員研究員
2001年 大阪大学歯学部附属病院講師
2005年 吹田市にて開業
2009年 大阪大学歯学部臨床教授
2013,2014年
日本歯科医師会生涯研修セミナー講師
2016年 (一社)日本歯内療法学会副理事長
2016年 広島大学歯学部非常勤講師[近著]
・歯内療法成功への道 抜髄Initial Treatment 治療に導くための歯髄への臨床アプローチ. ヒョーロン2016年7月.
・歯内療法成功への道 臨床根管解剖 基本的知識と歯種別の臨床ポイント. ヒョーロン. 2013年6月.
・歯内療法成功への道 根尖病変 治療に向けた戦略を究める. ヒョーロン. 2013年6月.
・歯内療法成功への道 偶発症と難症例への対応 病態・メカニズムから考える予防と治療戦略. ヒョーロン. 2014.3.
・最新 歯内療法の器具・器材と臨床活用テクニック. 日本歯科評論 別冊2015. 2015年5月. 編著

歯内療法は、根管系から起炎物質を除去した後の緊密な充填により、歯を歯周組織の中で長期に安定した状態で機能させることを目標とする。そして、治療は基本的に歯の削除を伴うため歯質の保存を意識する必要がある。削りすぎると歯の寿命が短くなり、削り足りなければ操作が不十分になり満足な結果が得られない。毎日の臨床で歯内療法について悩んでいる割合は多いのではないのでしょうか。

歯内療法において診断がもちろん重要ではあるが、実際に根管にアプローチしていくと、髓腔開拓から根管口明示、そして根管の拡大・形成を、効率よく安全に確実に行うことが必須となる。今回は、プラスチック模型でイメージをつかんだ後、抜去歯を用いることで、根管へのアプローチを実際に見直す機会を提供したい。根管口の明示や根管形成などについて、抜去歯で試してみ、頭で考えているイメージと実際の根管で形成される形態をリンクさせることにより、自分に合った治療法を構築していただきたい。当日はマイクロスコプによる確認ができる環境も準備致します。安全・正確・迅速にという日常臨床で求められる要素を踏まえた歯内療法を実践するきっかけとなる研修会を目指します。

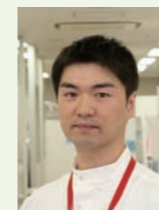
2コース レクチャー 定員:80名

6月10日(日)

時間 10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 創立100周年記念館

対象 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・学生

研修費 歯科医師(会員)7,000円、歯科医師(会員5年未満)3,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)17,000円
歯科衛生士・歯科技工士3,000円、学生無料超高齢社会における
戦略的歯科治療
～ 要介護者への義歯治療の
有効性を考える ～

松田 謙一

[所属学会]
日本補綴歯科学会専門医・代議員
日本老年歯科医学会(認定医)
日本口腔インプラント学会専修医[略歴]
2003年 大阪大学歯学部卒業
2007年 大阪大学大学院歯学研究科卒業
2009年 大阪大学大学院歯学研究科
顎口腔機能再建学講座 助教
日本補綴歯科学会専門医・代議員
BPSクリニカルインストラクター[近著]
1.『全部床義歯臨床のピリオグラフィ』
歯科技工(2015年1月~2017年6月全25回連載)
2.『無歯顎患者への戦略的補綴介入,IODと全部床義歯』
デンタルダイヤモンド(2017)42: 21-49.
3.『全部床義歯のClinical & Educational Question』
歯界展望(2017)130(4): 625-641.
4.『現義歯から読み解く新義歯への手がかり』
歯界展望(2018年1月より連載)
5.『患者説明で変わる総義歯臨床』
クインテッセンス(2018年1月より連載)

田中 佑人

[略歴]
2008年 広島大学歯学部卒業
2013年 大阪大学大学院歯学研究科卒業
2015年 カロリンスカ研究所(スウェーデン) 博士研究員
2016年 大阪歯科大学附属病院障がい者歯科 助教
BPSデンティスト

全部床義歯臨床には実に様々な手法や流派が存在し、今でも多くの書籍が出版され、講演会も多く開催されている。つまり、それだけ習得が困難であり、多くの臨床家が苦慮している分野だと考えられる。そこで本講演では全部床義歯臨床を成功へ導くための様々なポイントについて、時間の許す限り考察したいと考えている。特に重要であると考えられる以下の項目について出来るだけ分かりやすく解説したい。1)全部床義歯の治療対象とは? 2)全部床義歯の難しさを再考する 3)術前の診断、現義歯の分析の重要性 4)概形印象はコンセプトが鍵となる 5)最終印象法の選択 6)咬合高径はどのように決めるのか 7)間違いの少ない咬合採得法とは 8)咬合様式に関する考察 9)装着時のポイントと咬合調整 10)リコールの重要性と何を行うのか。なお、本講演では、単純な手法の紹介にとどまらず、なぜそうするのか? が理解できるように伝えたいと考えている。(松田謙一先生)

近年の医療の進歩に伴い、障害を持って生まれた新生児あるいは人生の半ばで重篤な疾患に罹患した人の救命率が向上したことにより、障害者や要介護者が増加しており、平成25年末時点でそれぞれ787万人、569万人と報告されている。認知症患者も増加傾向にあり、平成24年末時点で462万人に達した。本講演では、こうしたスペシャルニーズに地域歯科医院がどのように対応できるかを伝えたいと考えている。(数値はいずれも内閣府発表のものを使用)
(田中佑人先生)

7月8日(日)

時間 10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・学生

研修費 歯科医師(会員)7,000円、歯科医師(会員5年未満)3,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)17,000円
歯科衛生士・歯科技工士3,000円、学生無料

3コース レクチャー 定員:40名

安心・安全な
インプラント治療を
実践するために～治療計画の立案から生体材料の選択、
手術手技までの知識を
アップデートしませんか～

寺本 昌司

寺本デンタルクリニック(大阪市開業)

[略歴]
1987年 大阪歯科大学卒業
1997年 大阪歯科大学口腔外科学第1講座入局
1994年 大阪歯科大学大学院歯学研究科(口腔外科学専攻)修了
1994年 大阪歯科大学口腔外科学第1講座講師(非常勤)
1996年 寺本歯科医院(京都市)勤務
2003年 BIOMET 3i インプラントメンター
2005年 寺本デンタルクリニック開設
2006年 行岡医学技術専門学校看護科講師
2009年 K.I.S.S.(Kansai Implant Study Society) 設立
2011年 OJ (Osseointegration Study Club of Japan) 理事

インプラント治療は、欠損補綴の1オプションとしてその有効性が広く認知されるようになった。特に1990年代の後半からは、周囲の硬軟組織に対する付加手術の併用に伴い、インプラント治療はめざましい勢いで発展している。さらに近年CAD/CAM技術の発展と様々な歯科用マテリアルの進化により、上部構造の技工術式も劇的に変化し、現在では診査・診断、治療計画の立案から最終補綴物の作製に至るまで、デジタルテクノロジーを駆使することが可能となった。その反面、インプラント治療におけるトラブルも頻発するようになり、マスコミはこぞってインプラント治療のネガティブキャンペーンを実施するようにもなってきた。これらの結果、患者の知識や要求は高度になり、今日のインプラント治療には機能の回復や清掃性のみならず、周囲組織と調和のとれた審美的な治療結果とその持続性が要求されるようになった。

このような背景のなかで、患者と術者が共に安心して治療に臨み、安全に治療を完遂できるインプラント治療を実践するためにはどのような戦略や戦術が必要なのだろうか?本講演では、術者のラーニングステージを考慮に入れた治療計画の立案について解説し、使用する生体材料の選択基準について考察を加える。また、インプラント体の埋入や骨造成における外科手技について、動画やデモを用いて解説してみたい。さらに、トラブル時のレスキューについて、自身のトラブル症例も交えて供覧し、考察を加える予定である。

7月29日(日)

時間 10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・学生

研修費 歯科医師(会員)15,000円、歯科医師(会員5年未満)10,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)25,000円
歯科衛生士・歯科技工士10,000円、学生無料(受講のみ)

4コース ハンズオンセミナー 定員:25名

歯科用CAD/CAM
テクノロジーの現状と
その方向性

～口腔内スキャナーを体験しよう～



末瀬 一彦

大阪歯科大学 客員教授

[略歴]
1976年 大阪歯科大学卒業
1980年 大阪歯科大学大学院修了
1990年 大阪歯科大学 講師(歯科補綴学第2講座)
1997年 大阪歯科大学 客員教授(～2014)
1997年 大阪歯科大学歯科技工士専門学校 校長(～2016)
2008年 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校 校長(兼務～2014)
2014年 大阪歯科大学歯科審美学室 専任教授(～2017)
広島大学歯学部 客員教授
大阪歯科大学 客員教授
昭和大学歯学部 客員教授
東京医科歯科大学 非常勤講師

CAD/CAMテクノロジーは4つの要素から構成されるが、最初のデータの取り込み作業である光学印象は主として歯科技工士が行うモデルスキャナーと歯科医師が行う口腔内スキャナーによって行われる。いずれもスキャン精度が格段に向上し、従来から行われてきたアナログ的な精密印象とほぼ遜色のない状態まで改良されてきた。また、作業時間、操作性もよくなり、口腔内スキャナーを用いれば、最終修復物まですべてデータの送受信で完結できるようになった。

また、CADソフトの開発、改良によってクラウン、ブリッジだけでなく、インプラントアバットメント、サージカルガイド、上部構造、パーシャルデンチャー、フルデンチャー、矯正装置などほぼすべての修復物に対応できる。さらにCAMソフトや加工装置の精度、製作時間、価格なども改善されて、歯科医院や歯科技工所においてコンパクトに活用できるようになった。とりわけ最近では付加造形加工装置としての3Dプリンターが歯科用に改良され、個人トレーや咬合床などの製作から作業模型やレジンパターンなどの精度や表面性状が要求されるものまで製作可能となってきた。一方、平成26年4月に医療保険に「CAD/CAM冠」が導入されたことは、我が国のデジタルデンティストリーに大きな光明を見出すだけでなく、国民に先進的な良質な歯科医療を提供できることになる。平成29年12月からは第一大臼歯部への適用も可能になり、CAD/CAMテクノロジーは急速に普及する気配である。

CAD/CAMシステムの導入によって製作プロセスの標準化とそれに伴う省力化、製造コストの低減、補綴装置の品質の均質化などがもたらされてきたが、今後さらに進展することが予想される。

今回のコースでは、歯科用CAD/CAMテクノロジーの進展の経緯と現状、さらには展望をお示するとともに、今後急速に普及するであろう口腔スキャナーのデモンストレーションや体験をしていただきます。

5コース レクチャー 定員:80名

11月25日(日)

時間 10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 創立100周年記念館

対象 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・学生

研修費 歯科医師(会員)7,000円、歯科医師(会員5年未満)3,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)17,000円
歯科衛生士・歯科技工士3,000円、学生無料いかにして日本国民を
歯科医療に
覚醒させるか?～そのために必要な知識と
コミュニケーション技術～

西田 互

にしだわたる糖尿病内科

[略歴]
1988年 愛媛大学医学部卒業
1993年 愛媛大学大学院医学系研究科修了(医学博士)
1994年 愛媛大学医学部・第二内科 助手
1997年 大阪大学大学院医学系研究科・神経生化学 助手
2002年 愛媛大学医学部附属病院
臨床検査医学(糖尿病内科) 助手
2008年 愛媛大学大学院医学系研究科
分子遺伝制御内科学(糖尿病内科) 特任講師
2012年 にしだわたる糖尿病内科 開院、現在に至る[歯科関連著作]
・内科医から伝えたい歯科医院に知ってほしい
糖尿病のこと(医歯薬出版)
・信頼がうまれる患者対応の技術 歯科医院のための
医療面接スタートガイド(クインテッセンス出版)

日本人のうち、正常な歯肉を有している割合は2割以下であり、定期清掃を受けている成人もまた2割以下であると報告されています。なぜ日本人は歯科に定期通院しない、口腔ケア音痴民族になってしまったのでしょうか? そして、どうすれば国民は喜び勇んで歯科医院を訪ねるようになるのでしょうか?

演者はそのためには、正しい知識と、チェアサイドにおけるコミュニケーション技術が必須であると考えています。

知識は、手短かに言えば“口腔感染制御”、この一言に尽きます。う蝕や歯周病治療は、その先で口腔感染症の制御につながっており、さらにその先には、“口腔炎症の消退”が続いています。口腔感染症は、Fusobacterium感染症のような命に関わる病態を引き起こしますし、口腔の炎症はインスリン抵抗性を通じて糖尿病の悪化などをもたらします。午前の部では、歯科医療従事者が知っておくべき、けれど教科書には書かれていない、口腔感染制御を解説致します。

続く午後の部では、デンタル・インタビューの講義とロールプレイングを行います。2005年、日本の歯学部と医学部にOSCE試験の一教科として医療面接が正式に導入されました。医療面接は、患者から医学的情報を効率的に聴取しつつ、お互いの中に信頼関係を構築するための学問です。演者は、日本の歯科界に医療面接の知識と技術が備わることで、間違いなく受診率がアップすると信じており、歯科向けの“デンタル・インタビュー”に改変してセミナーを行ってきました。今回は、そのエッセンスをご紹介します。

6コース レクチャー 定員:100名

12月9日(日)

時間 10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 創立100周年記念館

対象 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・学生

研修費 歯科医師(会員)7,000円、歯科医師(会員5年未満)3,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)17,000円
歯科衛生士・歯科技工士3,000円、学生無料歯周病患者に対する
包括的治療における
Soft & Hard Tissue
Management

北島 一

日本臨床歯周病学会認定医
OJ(Osseointegration study club of Japan) 常任理事
AAP(American Academy of Periodontology) 会員
EAED(European Academy of Esthetic Dentistry) 会員[略歴]
1987年 広島大学歯学部卒業
1990年~ 北島歯科医院 開業
2008年 5-D Japan(石川、福西、船登、南先生とともに) 発足[参考]
<http://www.jacid.jp/archives/portfolio-item/kitajima>

歯周病が進行した口腔内には、歯の支持骨の喪失や歯の欠損も見られ、さらには歯列不正、咬合の異常がおこり、機能的、審美的な問題を抱えることが少なくない。

このような状況に対し、機能回復については歯周組織再生療法による支持組織の獲得や矯正治療、欠損部へのインプラント修復などの包括的な治療が有効に働く。

また審美性については、歯周病によって歯を喪失するようなケースでは、欠損部歯槽堤の骨量の不足と同時に、そこに隣接する周囲天然歯においても骨吸収が進行し、歯肉退縮に伴う歯根面露出や歯間乳頭の喪失による鼓形空隙の拡大など審美性を損なう問題を抱えていて、健全な歯周組織を有する歯列のような審美性を獲得することは困難な場合が多い。

このとき審美性の獲得、天然歯の保存、天然歯質の保存という三つの目標全てを達成できる治療は考えにくく、これら三つのうちのいずれかを妥協したものが現実的な治療計画となり得るであろう。このとき術者は患者の希望に配慮しながら、審美性の獲得、天然歯の保存、天然歯質の保存というそれぞれの要素のなかでバランスを取り、個々の患者にとって最善と思われる治療のゴール設定を行うことが求められる。

そして決定されたゴールに到達するためには、様々な状況に応じた戦略を立案し、適切な軟組織および硬組織に対するTissue Managementを応用することが必要となる。

平成 30 年度 大阪歯科大学同窓会
ポストグラデュエートコース 申込書

1名につき1枚の「申込書」をご使用ください。

平成 年 月 日

受講希望コースに ☑を入れてください。	<input type="checkbox"/> 歯科医師	<input type="checkbox"/> 歯科技工士	<input type="checkbox"/> 歯科衛生士	<input type="checkbox"/> 学 生	いずれかを囲んでください。
	<input type="checkbox"/> 1コース	2018.5.26 5.27	明日から使える歯内療法のエッセンス 2018 ～ 髓腔開拓から根管拡大・形成・根充まで～		
	<input type="checkbox"/> 2コース	2018.6.10	超高齢社会における戦略的歯科治療 ～ 要介護者への義歯治療の有効性を考える～		
	<input type="checkbox"/> 3コース	2018.7.8	安心・安全なインプラント治療を実践するために ～治療計画の立案から生体材料の選択、手術手技までの 知識をアップデートしませんか～		
	<input type="checkbox"/> 4コース	2018.7.29	歯科用 CAD/CAM テクノロジーの現状とその方向性 ～口腔内スキャナーを体験しよう～		
	<input type="checkbox"/> 5コース	2018.11.25	いかにして日本国民を歯科医療に覚醒させるか？ ～そのために必要な知識とコミュニケーション技術～		
	<input type="checkbox"/> 6コース	2018.12.9	歯周病患者に対する包括的治療における Soft & Hard Tissue Management		
氏 名	漢 字				
	英 字				
出 身 校	本 学 卒	大阪歯科大学	専 門 ・ 大 学	回	
	他 大 学 卒		大 学	部	年 卒
	歯 科 技 工 士		大 学 ・ 専 門 学 校		年 卒
	歯 科 衛 生 士		大 学 ・ 専 門 学 校		年 卒
学 生			大 学 ・ 専 門 学 校		年
連 絡 先 (常時連絡場所に☑ を入れてください)	<input type="checkbox"/> 勤 務 先				
	住 所	〒	—		
		TEL	()	FAX	()
	<input type="checkbox"/> 自 宅				
	住 所	〒	—		
		TEL	()	FAX	()
	メールアドレス (PC)	@			
	メールアドレス (携帯)	@			

お申し込み方法

- ホームページからのお申込み <http://www.osakadent-dousou.jp/pgc/pgc-schedule/>
- ファクシミリでのお申込み 本申込書に必要事項をご記入の上、FAX してください。
FAX : 06-6943-1389

お問い合わせ

大阪歯科大学同窓会 ポストグラデュエートコース委員会
 〒540-0008 大阪市中央区大手前 1 丁目 5 番 17 号
 TEL : 06-6910-1061 Mail : dousou@cc.osaka-dent.ac.jp

